

科目名 (英)	スポーツ鍼灸実技 Sports-related Acupuncture and Moxibustion Practical Skills	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	前田 見太郎
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	45 1	開講区分	後期
【授業の学習内容】 ・スポーツ鍼灸実技では多様化する鍼灸の社会的ニーズに対応できる能力(スポーツ分野)を身につける。 ・はり師きゅう師に必要なスポーツ医学を基本とした傷害の予防、治療法やコンディショニングを身につける。 本授業ではスポーツ支援のために必要な①解剖学運動学の統合的知識、技術、②怪我、病気、③応急処置から救急処置、④リコンディショニングについて行う。 授業後半では実際の現場を想定したシミュレーションを行い、知識と技術の統合を行う。 前田 実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資 格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント							
【到達目標】 ①競技者との良好な関係を構築するために必要なコーチングの目的を説明できる。②競技者の身体状況の把握(メディカルチェック)を行うことができる。 ③一次救命の流れを説明できる。④ファーストエイド(応急処置)を行うことができる。⑤熱中症の予防対策を説明できる。⑥スポーツ外傷で遭遇することの多い外傷に対しての診察、治療プラン作成、治療を行うことができる。							

授業計画・内容	
1回目	主訴、症状、所見等の原因、治療方針や治療法の組み立てを考察することができる。
2回目	スポーツ外傷・障害の定義について説明することができる。スポーツ外傷・障害の発生要因について考えることができる。RICE処置について説明することができる。
3回目	スタスティックアライメント、ダイナミックアライメントの観察をすることができる。アライメント異常の原因を考察することができる。
4回目	アライメント異常の観察をすることができる。アライメントコントロールを説明することができる。足関節機能改善テーピングを行う。
5回目	足関節捻挫の発生メカニズムについて説明することができる。重症度分類、鑑別診断、リハビリテーション評価を行うことができる。
6回目	足関節障害 シミュレーション 足関節の不安定性を評価することができる。
7回目	スポーツ障害による疼痛発生好発部位を観察することができる。関節可動域制限による障害原因を考察することができる。障害に対するトレーニング、競技復帰までのプロトコルを検討することができる。
8回目	足関節固定法(U-cast)を行うことができる。U-cast固定の長所・短所を述べるることができる。
9回目	歩行訓練と歩行補助具について述べるることができる。部分荷重について述べるることができる。
10回目	下肢障害 シミュレーション 下肢疲労骨折の発生要因や診察、鑑別について説明することができる。
11回目	膝関節障害(総論) 膝関節障害に対するスペシャルテストの検査意義、方法、陽性所見から考えられる病態について説明することができる。
12回目	膝関節障害(各論) 十字靭帯 十字靭帯損傷の発生要因から症状、病態把握、治療(リハビリテーション含む)について説明することができる。
13回目	膝関節障害(各論) 側副靭帯、半月板 側副靭帯、半月板損傷の発生要因から症状、病態把握、治療(リハビリテーション含む)について説明することができる。
14回目	膝関節障害(各論) その他 側副靭帯、半月板損傷の発生要因から症状、病態把握、治療(リハビリテーション含む)について説明することができる。
15回目	大腿部のスポーツ障害 大腿部に多いスポーツ障害の発生要因から症状、病態把握、治療(リハビリテーション含む)について説明することができる。
準備学習 時間外学習	準備学習 解剖学、運動学で学習した内容を復習しておくこと 時間外学習 障害の発生メカニズムについて復習しておくこと
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 医歯薬出版社 東洋療法学校協会編 解剖学 日本医事新報社 人体の正常構造と機能、 滋慶出版 ずっと使える 鍼灸臨床BOOK	

科目名 (英)	スポーツ鍼灸実技 Sports-related Acupuncture and Moxibustion Practical Skills	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	前田 見太郎
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	実技	総時間 (単位)	45 1	開講区分	後期
【授業の学習内容】							
<p>・スポーツ鍼灸実技では多様化する鍼灸の社会的ニーズに対応できる能力(スポーツ分野)を身につける。</p> <p>・はり師きゅう師に必要なスポーツ医学を基本とした傷害の予防、治療法やコンディショニングを身につける。</p> <p>本授業ではスポーツ支援のために必要な①解剖学運動学の統合的知識、技術、②怪我、病気、③応急処置から救急処置、④リコンディショニングについて行う。</p> <p>授業後半では実際の現場を想定したシミュレーションを行い、知識と技術の統合を行う。</p> <p>前田 実務実績 付属治療院での診察から治療までの業務に従事 各種スポーツのトレーナー活動 医療系専門学校にて教鞭をとる。</p> <p>資 格 はり師・きゅう師、JRFUセーフティアシスタント</p>							
【到達目標】							
①競技者との良好な関係を構築するために必要なコーチングの目的を説明できる。②競技者の身体状況の把握(メディカルチェック)を行うことができる。 ③一次救命の流れを説明できる。④ファーストエイド(応急処置)を行うことができる。⑤熱中症の予防対策を説明できる。⑥スポーツ外傷で遭遇することの多い外傷に対する診察、治療プラン作成、治療を行うことができる。							
授業計画・内容							
16回目	大腿部・股関節のスポーツ外傷・障害 シミュレーション① 大腿部・股関節部の機能解剖から見るスポーツ外傷・障害の好発部位について説明、機能解剖学的見地より触診を行うことができる。						
17回目	膝関節のスポーツ障害 シミュレーション① スポーツ外傷から考える膝関節障害の病態把握、治療(リハビリテーション含む)						
18回目	膝関節のスポーツ障害 シミュレーション② スポーツ外傷から考える膝関節障害の病態把握、治療(リハビリテーション含む)						
19回目	大腿部のスポーツ障害 シミュレーション② 大腿部の筋損傷に対する病態把握(重症度鑑別含む)、競技復帰までの治療(リハビリテーション含む)プロトコルを検討することができる。						
20回目	大腿部・股関節のスポーツ外傷・障害 シミュレーション② 大腿部・股関節部の機能解剖から見るスポーツ外傷・障害の好発部位について説明、機能解剖学的見地より触診を行うことができる。						
21回目	腰部のスポーツ障害 腰部の安定化 受動的腰部安定化に係る要素について説明することができる。安定化エクササイズを実践することができる。						
22回目	腰痛 シミュレーション 腰部の様々な症状に対する病態把握、治療プランを検討することができる。						
23回目	肩関節痛 シミュレーション② 肩関節の様々な症状に対する病態把握、治療プランを検討することができる。						
24回目	肩関節痛 シミュレーション① 肩関節の様々な症状に対する病態把握、治療プランを検討することができる。						
準備学習 時間外学習	準備学習 解剖学、運動学で学習した内容を復習しておくこと 時間外学習 障害の発生メカニズムについて復習しておくこと 筋の起始停止、作用、関節構造について復習しておくこと						
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。						
受講生への メッセージ							
【使用教科書・教材・参考書】							
医歯薬出版社 東洋療法学校協会編 解剖学 日本医事新報社 人体の正常構造と機能、 滋慶出版 ずっと使える 鍼灸臨床BOOK							

